

## 第7回平塚市社会教育委員会議要旨

日 時	令和5年10月24日（火）15時00分～17時00分
会 場	平塚市役所410会議室
出席委員	井手委員、山崎委員、大和田委員、鈴木委員、丸島委員、小巻委員、 畠中委員、江水委員、飯田委員、伊東委員、河野委員
欠席委員	なし
事務局	平井社会教育部長、田中社会教育課長、鳥居中央公民館長 木村課長代理、木村主査、吉水主事
傍聴者	なし

### 会議要旨

---

#### 1. 議長あいさつ

##### ○議長

秋シーズンに入り、社会教育関係のイベントが目白押しだと思うが、先ずその話を伺いたい。

##### ○事務局

社会教育関係のイベントについてご紹介する。9月24日には村井弦斎まつりが4年ぶりに開催された。同時期から市内各地で市民体育レクリエーション地区大会（地区レク）がスタートし、10月22日の金目地区を最後に無事に開催することができた。（岡崎、豊田地区は雨天中止）

コロナを経験する前に比べて、各地で開催時間の短縮や競技内容を競うもの中心から幅広い世代が参加しやすいニュースポーツを取り入れる等の工夫が見られた。

文化関係では、平塚市文化祭が文芸、芸能発表、展示作品等10月上旬から中央公民館や美術館を会場にスタートしている。博物館では、プラネタリウム誕生から100年の特別展を、美術館では、輸入陶磁器の特別展を開催している。

伝統文化では、11月19日に湘南座や前鳥座も参加する民俗芸能まつりを開催する予定である。

スポーツ関係では、10月15日にはパラスポーツフェスタを開催し、車いすバスケットボールなどのパラスポーツ等の体験会を実施した。第60回の少年野球大会を記念して、元プロ野球選手を招いて子どもたちと対戦する企画があるドリーム・ベースボールを11月19日に開催する予定である。

##### ○議長

図書館では、中央で窓口委託、分館で指定管理者制度が始まり、どのような運営になるか注目していたが、入っている事業者は館内のディスプレイやイベント等の工夫が見られると感じる。

博物館関係はどうか。

#### ○委員

11月12日に金目公民館にて日本エコミュージアム研究会による全国大会が開催される。金目エコミュージアムの活動について発表する予定なので、是非興味のある方はご参加ください。

平塚市博物館では、学芸員をはじめプラネタリウムに力を入れているので、是非足を運んでいただけるととても良い時間が過ごせると思う。

## 2. 議事

### (1) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について

- ・地区研究会（開成町）について

事務局から1月27日（土）に開成町にて開催予定の地区研究会の案内をした。参加希望者は事務局まで。

### (2) 協議テーマについて

#### ○議長

前回回収したアンケートと会議での発言内容を基に一覧表にまとめている。修正する表現や追加するもの等あれば、ここでお知らせいただきたい。

表の中で同じような内容の項目は同色にして掲載している。この表を基に報告書の作成をしていきたい。

#### ○委員

表の中の言いきりの表現をもう少し柔らかい表現にしてもらえると良いと思う。

#### ○委員

「地域活動に参画しない家庭は、地域行事に参加する意識が低い」を「大人が地域活動に参画しない家庭は、子どもが地域行事に参加する意識が低い。」と補足してもらえると良いと思う。

#### ○委員

前回の会議で学校の授業で地域の課題を話し合う時間が作れると良いと話をしたことが発展して、「大原ハッピー大作戦」という企画となり、大原小学校4年生が5つのグループ

(健康、あいさつ、防災、緑化、お助け隊)に分かれて活動する。健康のグループでは、体操をしたり、あいさつのグループはあいさつ自動販売機を作ったり、防災のグループは安全な避難経路を示したり、緑化のグループはごみ拾いや花植えをしたり、お助け隊のグループはお年寄りの何でも屋になるということで進める予定である。3月の公民館まつりにて結果を発表する予定。

#### ○委員

記載された内容が大分省略されているので、「核家族化の影響により」や「特に土日には、中学生は部活動で忙しく」など追加してもらえるといいのでは。

先日、地区レクが開催された際、親子の参加は見られたが、祖父母世代が見られない状況であった。子どもの親世代を地域活動にどう取り込んでいけるかが重要ではないかと思う。

#### ○委員

先週、金旭中学校の学校祭で中学校PTAが豚汁を炊き出しする活動をしてきた。そこで高校生や大学生が数名だが、運営側のお手伝いとして参加する姿が見られた。このお手伝いに来てくれる子たちを大切にしていきたい。

若い人たちが入って来ないことを嘆いているだけでなく、運営側がどうアクションをしかけていくかが大切ではないか。

#### ○委員

なぜ子どもたちが地域行事に参加・参画する必要があるのかを企画する大人たちが伝えているのか、子どもたちが参加・参画する必要性を考えることについて、大人たちが仕掛けているのか、という視点が大切であると思う。納得するよう大人が説明してあげることも必要ではないか。

主権者教育を挙げているが、子どもたちが義務と権利を考える機会を作り、主権者意識を持っていければよいと思う。子どもたちが自身と地域との繋がりを学んだり、知ることによって地域に関心を持って関わってくるのではないかと思う。

#### ○委員

港地区の高浜台自治会では、役員の若返りがうまく進んでいると感じた。子ども会育成会に関わっている役員を自治会の役員にうまく引き込んでいるように感じる。親が楽しく地域に関わっていれば、その姿を見ている子どもにとってもいい影響があるのではないか。

#### ○委員

子どもがイベントに参加するには、保護者の声掛けがとても重要だと思う。

また子どもの興味を惹く地域行事を考案していく必要がある。子どもたち自身が発案したものであれば、積極的に参加するのではと思う。

#### ○委員

博物館に関わっていて、親の影響を子どもが大きく受けることがある。博物館に興味のある親が子どもを連れていき、そのうち子どもが博物館に興味をもって行くようになる。最終的にその子どもが博物館のボランティアとして自発的に支えてくれるようになった。ということがある。親子に焦点を当てた社会教育活動を展開していけると良いのでは。

#### ○副議長

自治会離れが進んでいる状況があるが、自治会に入らなくても問題ないと考えている人が増えているのではと感じる。

なぜ子どもの地域参加・参画が必要なのかを考え、情報交換や意見交換をする場が必要であると思う。

学校での総合的な学習の時間が発表で終わってしまうのではなく、地域活動へ繋げていければ、理想的だと思う。

大人も子どもも地域活動をするからには、楽しむことが大切であり、まずは参加・参画に繋げる第一歩ではないかを感じる。

#### ○副議長

平塚にはほぼ1小学校区に1館の地区公民館があり、子どもが気軽に足を運べる範囲にあるので、公民館での活動や事業は大切だと考えている。若い親世代の声を公民館や地域に届けるために公民館運営委員に公募枠や子ども枠を設けたり、公民館でボランティアの募集をする取り組みがあっても良いのではと思う。

若い世代が中心となって声を上げていける場が大切で子どもたちや若い世代が考えるアイデアを運営側が取り入れられるといいのではと感じる。

#### ○議長

金目ネットの事例であるが、中学校に中学生ボランティアを募集する際、学校に出向き、ボランティア内容や事業の説明をしたうえで募集をかけたそうである。それがきっかけとなったのか多くのボランティア参加者を集めていた。子どもたちは知らないものには腰が重いのではと思う。企画する大人が募集チラシを配るだけでなく、子どもへ説明する機会を作ることも大切なことだと感じた。

大人が楽しんでいるかどうかも重要だと感じる。楽しんでいれば次から次にアイデアが出てくるし、前向きに活動していけると思う。役員の割り当てやしがらみの中で仕方なく引き受けた役だとなかなか前向きになれないのではと感じる。

今後、市内でコミュニティ・スクールが増えていくと思うが、地域の声を学校運営にどこまで反映していけるのかは今後の推移を見守っていきたい。

○副議長

子どもたちに情報を伝えることとして、地域の公民館だよりや学校を通したチラシ配布が多いと思うが、例えば公民館主事が学校に行き、事業の説明や紹介をするなどができたら良いと思う。

○副議長

私の地区では11月に子ども大会を開催するが、今年から二次元コードをスマホ等で読み取り、申し込みをする方法にした。子どもや若い世代に合った申し込み方法の工夫をしても良いと思う。

○議長

子どもたちに参加・参画してもらいたいのであれば、学校に説明させていただく機会を相談すればいいと思う。学校側が難しい判断することもあるかもしれないが、学校が求めている場合もあるので、率直に話をすればいいと思う。

○委員

学校も地域も懇話会のような腹を割って話ができる場が大切ではと思う。

○委員

おらがまち自慢フェスタのような我がまちの良いところを子どもたちが主体となって自慢するようなイベントがあってもいいのではと思った。

○委員

子どもの頃から社会教育施設に親しむ経験が大切だと考えている。特に平塚市はほぼ1小学校区に1館の公民館があり、子どもたちが歩いて行ける場所にあるので、身近な社会教育施設として、公民館主事が子どもと関わり合える場があると良いと感じる。10年位前の他市の事例であるが、登下校時に公民館主事が公民館の前に出て、子どもたちに声を掛け、地域のゴミ拾いなど地域の役に立つ活動を子どもたちと行なっている事例がある。このような経験ができれば、子どもたちにとって地域への思いを強くする経験になると思う。

○議長

次回の1月の定例会議までに報告書のたたき台を作成する予定である。進捗状況によっ

ては会議前に各委員に報告書のたたき台を送付し、目を通してもらったうえで次回会議においてご意見を伺いたい。

報告書作成にあたって、事前の打ち合わせを11月14日（火）10時～316会議室で行いたい。参加できる委員は是非参加いただきたい。

---

（3）次回の会議予定の確認

第8回会議日程 令和6年1月23日（火）15時から（410会議室）

3. その他

○副議長

先日、配布いただいた公民館要覧は昨年度から比べて、大変読み易いものになっていた。

以 上